休憩施設空白区間の解消

別紙3－1

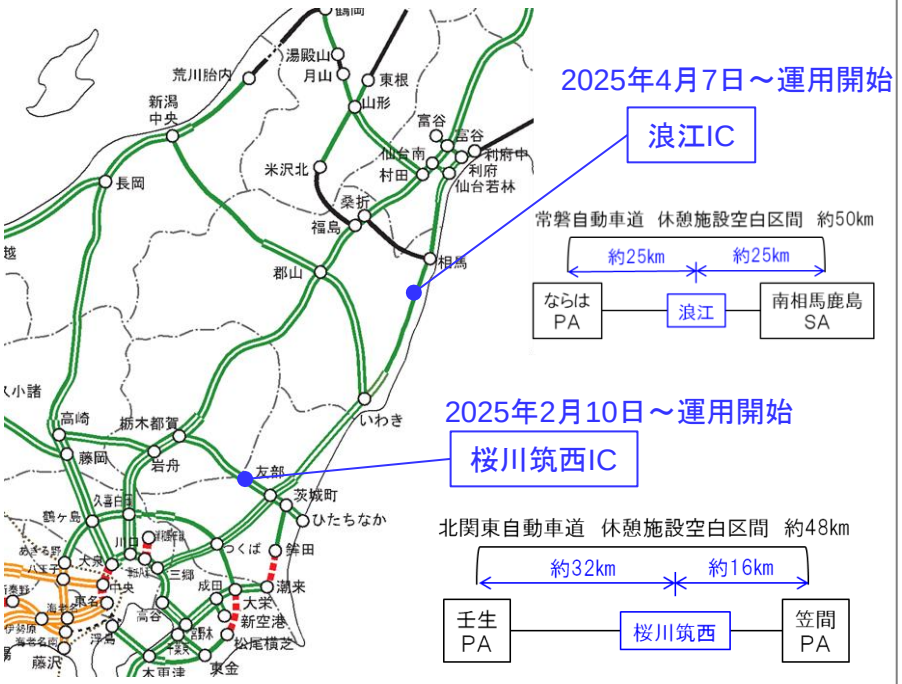
『インターチェンジ内側駐車場』の実証実験に着手
～北関東道　桜川筑西IC、常磐道　浪江IC～

- 休憩施設等の不足を解消し、良好な運転環境を実現することを目的に、休憩施設間の距離が35km以上となる休憩施設空白区間について、インターチェンジ(以下IC)内側の管理用敷地を開放し、臨時駐車場として整備
- 2025年2月から北関東道　桜川筑西ICで運用開始※1、2025年4月から常磐道　浪江ICで運用開始※2
- 今後、運用状況や利用者のニーズを踏まえ、休憩施設空白区間におけるIC内側駐車場の効果検証を実施

※1 NEXCO東日本 プレスリリース 『休憩施設の空白区間対策「インターチェンジ内側駐車場」の実証実験を開始します～」（令和7年2月3日）
※2 NEXCO東日本 プレスリリース 『休憩施設の空白区間対策「浪江インターチェンジ内側駐車場」の実証実験を開始します～」（令和7年3月31日）

◇ IC内側駐車場の実証実験

■ 整備箇所について



■ 整備状況

航空写真

運用状況

写真 E50　北関東道　桜川筑西IC